

# 1泊学習セミナー 「どうなる!? からの日本」 ～今後の医療提供体制、社会保障と財源、TPP、憲法等を考える～



団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題に備えて社会保障の在り方が問われている今、過剰な社会保障費の削減が行われ、さらなる医療崩壊が起こることは阻止しなければならないと強く思いました。

が、実は自民党的憲法改正草案には、社会保障費削減の根拠となるような文言も含まれているということでした。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題に備えて社会保障の在り方が問われている今、過剰な社会保障費の削減が行われ、さらなる医療崩壊が起こることは阻止しなければならないと強く思いました。

8月24日(土)、25日(日)の両日にわたり、嬉野温泉旅館大正屋にて、「どうなる? これから日本へ今後の医療提供体制、社会保障と財源、TPP、憲法等を考える」を開催いたしました。

満岡聰先生(満岡内科消化器科医院)に加え、当協会の藤戸好典会長、新井良一・佐藤直人副会長、千葉研介・山口宏和常任理事を講師として、県内各地から17名の参加がありました。

以下、参加者からの報告です。

演題について報告をしてもらい、参加者全員で時事情勢を分かち合おうと、いう趣旨で行われました。悪天候にもかかわらず、県内各地から17名の参加がありました。

平和、社会保障 千葉常任理事、「あるべき医療提供体制の姿について」山口常任理事、「社会保障と財源問題——内部留保をめぐつて」藤戸会長でした。各演題は、保険医であるわれわれにとつて非常

発行所  
佐賀県保険協議会  
佐賀市駅前中央1-9-45  
(三井生命ビル4F)  
電話 0952(29)1933  
FAX 0952(23)5218  
HP <http://saga-doc.jp>  
✉ [hoken-i@star.saganet.ne.jp](mailto:hoken-i@star.saganet.ne.jp)  
購読料 1部 200円  
送料込 年間2,400円  
( 会員の購読料は会費 )  
に含まれています

# 歯科新規開業医講習会



主な記事

協会会員数  
医科 631人  
歯科 326人  
合計 957人  
(8月31日現在)

・わたしの主張「福島原発事故収束せず」  
……………2面

**曙**  
仙台市へ被災地  
を見学しに行く  
機会があり行つ  
てきました。語り部タク  
シーの運転手さんと共に、  
いろいろな場所を見てい  
いろいろな話を聞いて来

この講習会で紹介された本は早く購入して、保険の流れとカルテ記載について一から学ぼうと思います。

知り、録音の必要性、場合によつては弁護士同様をした方がよいなど、全く知らなかつた、指導の実際について情報を得ることができました。

お忙しい中、講師の新井先生、千葉先生、および事務局の方々、遅くまでご指導いただき本当にありがとうございました。（NDC）

ただいたことも、これら  
ら新規指導を受けること  
になる身としては非常に  
参考になる貴重な資料だ  
と思います。私も指導後  
にはしっかりと次に統く  
先生のために資料を残し  
ます。

加することで、保険診療を行ふ保険医であると名乗ることの本当の意味を理解したように思います。保険診療を行うということは、保険のルールのつとつた適切な治療の順番、カルテの記載をすることが課せられ、またの指導内容を紹介して、講師の先生がおつしやられた、返戻を恐れ過ぎずに対応することも必要だとしている言葉にも大変勇気付けられました。これまで

An illustration of a doctor with dark hair, wearing a white coat over a light-colored shirt, running towards the right. He is carrying a clipboard with a green cross on it under his left arm. The background is plain white.

した現在でも、原発事故の収束には程遠く、放射能汚染禍は被災地の生活再建に暗い影を落としています。そして、これが今の状況なのだと思い知るとともに、私たちに何かできることがないものかと再度考える機会となっていました。（ライダー）

深刻化する福島原発の汚染水問題について、首相は「全く問題ない」とまで言い切りました。しかし、実態はどうでしようか▼被災地では復興が進んでいる地域と手つかずの地域があり、まだら模様の状態が続いています。

災、東京電力福島第1原発事故から2年半が経ちました。2020年夏季オリンピック開催地を決めるIOC総会では、安倍晋三首相らが被災地がたくましく復興している状況等を述べ、IOC委員の心に訴え掛けています。

ました。海岸部の少し内側に広がる草原：以前、そこはほとんどが住宅地だつた場所だそうです。その場所まで足を運ぶと、根こそぎ家がなくなつてしまつていたり、倒壊して基礎だけの状態になつて、たゞが一面に広がつて